

<令和4年度報告書>

はじめに

コロナ禍も3年目を迎え、当会もウィズコロナとして動きを模索しながらではありましたが、活動の1つである定例会をオンラインで年4回無事に開催することができました。まずはお忙しい中にもかかわらず講演いただいた講師の方々、準備・当日の運営に奔走した委員の皆さんに感謝申し上げます。また定例会の良さでもあるスモールグループディスカッションもZoomのブレイクアウトルーム機能を活用して行うことができました。オンラインであっても、参加者同士が自らの専門性や立場からざっくばらんな意見交換をすることができ、当会の目的である「顔の見える関係」を感じることができ、私自身うれしかった事を覚えています。またホームページの充実、活動報告の作成、在宅ケアに携わる専門職の紹介動画づくり、なども行うことができました。

さて、当会の目的は以下の3点です。

- ・在宅ケアに関わる多職種や関係者と顔の見える関係をつくる
- ・在宅ケア推進にあたり、関係者・住民の知識の増進をはかり、相談できる場をつくる
- ・在宅ケアを広め、住民のニーズをくみ取る場をつくる

会の発足以来大事にしてきたのは、“在宅ケア”という共通のテーマのもと、人と人のつながりを底力に専門性を活かしながら連携を深めることで、一人の専門職ではカバーしきれない在宅での課題を、多職種のチームとして取り組めるようになることです。専門職の研修会などではオンライン研修が当たり前になってきた昨今、当会もこの1年でオンライン研修のアクセスの良さ、新たな参加者の拡大など良い面を実感してきました。一方で、2023年度はコロナウイルス感染症の5類への引き下げを元に、対面で開催する定例会の再開や住民対象の市民フェスティバルなど徐々に今まで行ってきた活動の形の良いところも残しつつ、コロナ禍で培った利点も活かするようなハイブリッドで運営していくことが大事なのではないかなと感じております。

最後に、今年度で長年、当会の運営に尽力いただいた佐藤安行副会長が退任されることになりました。当会立ち上げ時からバランスの良い発言や会則作成など様々な形でお力添えいただいていただけに残念ではありますが、新天地でのご活躍を祈念いたします。また、運営メンバー・幹事・事務局の皆さん、そして何より当会の活動に参加いただいている皆さん、1年間どうもありがとうございました。次年度こそ、直接お会いできることを楽しみにしております。

西いぶり在宅ケア連絡会 会長 佐藤弘太郎

月	形式(参加実績)	テーマ・内容
8月	講演 (51名) Zoom開催 ※1	『精神科を知ろう!』～早期受診、早期治療の勧め～ 在宅生活が続けられなくなる理由の一つに、認知症など精神疾患があると思います。認知症をはじめ、精神疾患の多くは早期治療が効果的とされていますが、ご本人さんやご家族のなかには精神科病院に抵抗があったり敷居が高いと感じ、適切なタイミングで精神科医療に繋がらない方も多いのではないかと思います。今回は、三愛病院の精神保健福祉士 竹内さんが話題提供者となり、精神科医療をテーマに、精神科病院への受診の仕方などについてお話し頂きます。良質な精神科医療について共有することで、さらなる連携を深める機会になり、適切な治療に繋がると思います。多くの方のご参加をお待ちしています。
9月	講演・事例共有 (50名) Zoom開催 ※2	いぶり初！看護小規模多機能型居宅介護(看多機)を知ろう～医療依存度が高くても住み慣れた自宅で暮らしたい！～ 一人暮らしで「流動食・胃ろうになったら」、「自己注射出来なくなったら」、「家族の介護負担が増えたら」、ご本人は自宅で過ごしたいと思っても、入院や入所を検討せざるを得ない場合もあるかと思います。そこで24時間365日、安全・安心な在宅療養を続けるためには、多様なサービスが不可欠です。看護・介護の専門職の目の行き届くところで「訪問サービス」や「通所」「宿泊」ができ、さらに療養上の不安や疑問を、看護職に気軽に相談できるサービスが在宅療養には重要です。今回はいぶり初！看多機つむぎの方々から実際の事例を通して看多機についてお話をさせていただきます。2012年度から開始になったサービスですが、いぶりで初ということもあり内容を知っていただく良い機会になると思いますので多くの方のご参加お待ちしております。
12月	講演 (51名) Zoom開催 ※3	高齢者等の権利擁護について～司法書士の立場から～ 皆さんは司法書士さんがどのようなお仕事をされているかご存知でしょうか？不動産の登記、相続・遺言、空き家対策、そして成年後見人など業務は多岐にわたります。昨今、高齢者支援の場を中心に、成年後見制度が広く活用されるようになりました。病気を理由に判断能力が低下した場合に本人の財産や権利を保護する制度です。そして、超高齢社会に突入している今こそ、その制度の活用や支援について、私たち支援者がさらに詳しく知っておく必要性があると感じています。今回、講師に西胆振地域を中心に広くご活躍されている司法書士の伊奈綾先生をお招きし、成年後見制度や司法書士の仕事、後見人とケアマネジャーとの連携事例などについてお話頂きます。普段は聞けない話が盛りだくさんです！是非ご参加ください！
3月	講演・事例共有 (38名) Zoom開催 ※4	支援を拒むセルフネグレクトについて 皆さま、セルフネグレクトという言葉をご存知でしょうか。ネグレクトとは、『世話や養育をすべき人がその責任を果たさず、放棄・放置する事態』を意味しますが、このようなネグレクトが自らに向いた状態をセルフネグレクトと言います。適切な食事を摂らない、着替えをしない、洗濯や掃除をしない等、不健康な生活から治療や介護を拒否する事による生命の危険、孤立死など適切な支援が必要となります。しかし、セルフネグレクトの方は支援介入を拒否してしまうことが多いため困難事例となる事も多く、多くの支援者が関わり検討することが求められます。今回、講師のお二人にはセルフネグレクトを含む虐待に関するミニ講話と「支援を拒む」実際の事例の報告をして頂きます。事例を通してセルフネグレクトの現状、多職種連携、支援の方法等を学び、最後にはグループディスカッションを行いたいと思っています。多くの方のご参加をお待ちしています。

- ※1 講師:特定医療法人社団千寿会 三愛病院 精神保健福祉士 竹内 亮平 氏
 ※2 講師:看護小規模多機能型居宅介護つむぎ 藤井センター長 安田副センター長 小甲介護主任
 ※3 講師:司法書士伊奈綾事務所 司法書士 伊奈 綾 氏
 ※4 講師:室蘭市地域包括支援センター白鳥ハイツ 社会福祉士 本堂 裕恭 氏
 室蘭市地域包括支援センター母恋 社会福祉士 戸ノ崎 和樹 氏

令和4年度 定例会 職種別 参加者数

※事前申込者ベース

ラベル	職種	8月	9月	12月	3月	延べ
1	①. 医師	3	2	2	2	7
2	②. 歯科医師	0	0	0	0	0
3	③. 保健師	1	0	0	0	1
4	④. 看護師	7	7	6	6	20
5	⑤. ケアマネジャー	9	10	7	4	26
6	⑥. 社会福祉士	3	1	2	2	6
7	⑦. 栄養士	1	1	1	1	3
8	⑧. PT	3	1	2	3	6
9	⑨. OT	1	3	2	2	6
10	⑩. ST	0	0	0	0	0
11	⑪. MSW	2	4	4	2	10
12	⑫. PSW	8	5	7	5	20
13	⑬. 薬剤師	9	12	16	7	37
14	⑭. 歯科衛生士	0	0	0	1	0
15	⑮. 介護福祉士	0	0	0	1	0
16	⑯. ヘルパー	0	0	0	0	0
17	⑰. 生活相談員	1	0	0	0	1
18	⑱. 柔道整復師	0	0	0	0	0
19	⑲. 福祉用具	0	0	0	0	0
20	⑳. 医事関係者	0	2	0	1	2
21	㉑. その他()	3	2	2	1	7
合計		51	50	51	38	152

第72回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

テーマ

『精神科を知ろう！』 ～早期受診、早期治療の勧め～

日時：8月8日(月) 18:30～20:00

開催方法：オンライン型研修(Zoomにてリモート開催)

参加申込：URL、QRコードよりサイトにアクセスし必要情報入力の上、
申し込み。(別紙参照)

参加費：500円 ※定員に達した場合参加できない場合があります。



<内 容>

18:30～18:35 開会：会長挨拶、講師紹介

18:35～19:35 講演「精神科を知ろう！」

特定医療法人社団千寿会 三愛病院
精神保健福祉士 竹内 亮平 様

19:35～20:00 グループワーク(感想の共有)

20:00 閉会



今月のポイント！

在宅生活が続けられなくなる理由の一つに、認知症など精神疾患があると思います。認知症をはじめ、精神疾患の多くは早期治療が効果的とされていますが、ご本人さんやご家族のなかには精神科病院に抵抗があったり敷居が高いと感じ、適切なタイミングで精神科医療に繋がらない方も多いのではないかと思います。今回は、三愛病院の精神保健福祉士 竹内さんが話題提供者となり、精神科医療をテーマに、精神科病院への受診の仕方などについてお話し頂きます。良質な精神科医療について共有することで、さらなる連携を深める機会になり、適切な治療に繋がると思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

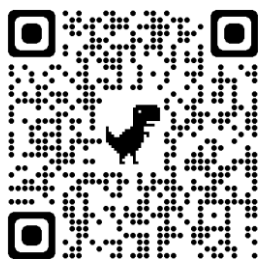
【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

第72回西いぶり在宅ケア連絡会定例会 参加申込方法

- 参加申し込みの締め切りは8月2日(水)までとなります。
- 下記URLもしくはQRコードからサイトへアクセスし、必要事項を記入し、送信ボタン押す。

※参加にはPC、タブレットなどのデバイス(機器)が必要です。

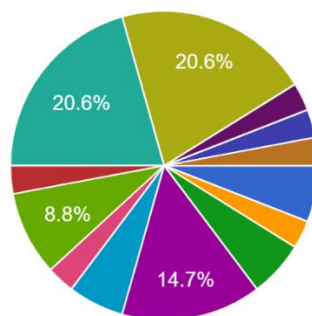


←QRコード

- URL: <https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfh-pqGek0oKXDkMk5I-BkflyFhOtxKfq2TOGz5ujtouXU4wA/viewform>
- 申し込みいただいた方に順次、参加費の支払方法をお知らせ致します。Passmarketでの支払いか銀行振込にて徴収いたします。
その後、参加費の振り込みを確認し必要情報を定例会実施前の8月5日(金)までにお知らせいたします。
※参加申し込みをいただいた時点ですでに定員に達していた場合、定員に達した旨メールにてご連絡いたします。
- ご不明な点は事務局古里まで t.furusato@hcfm.jp
- 同一デバイスで複数の参加の場合でも必ず一人ずつ申し込みをしてください。

職種を教えてください。

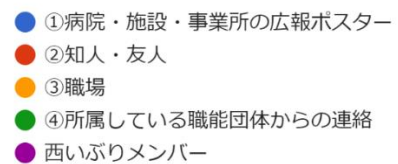
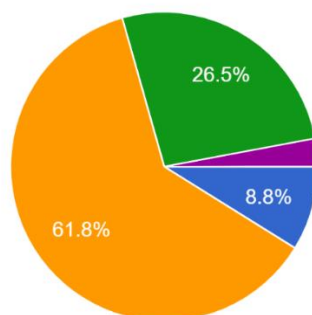
34 件の回答



薬剤師	7
PSW	7
ケアマネジャー	5
PT	3
医師	2
看護師	2
社会福祉士	3
保健師	1
医事	1
生活相談員	1
栄養士	1
OT	1

今回の研修会をどのように知りましたか？

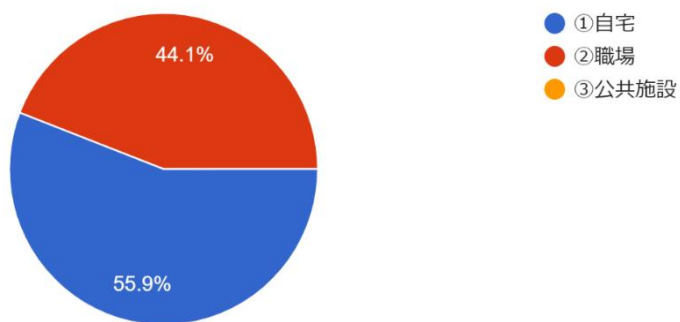
34 件の回答



②知人・友人	0
③職場	21
④職能団体	9
⑤その他	1
	34

今回の研修会にはどこで視聴(参加)しましたか？

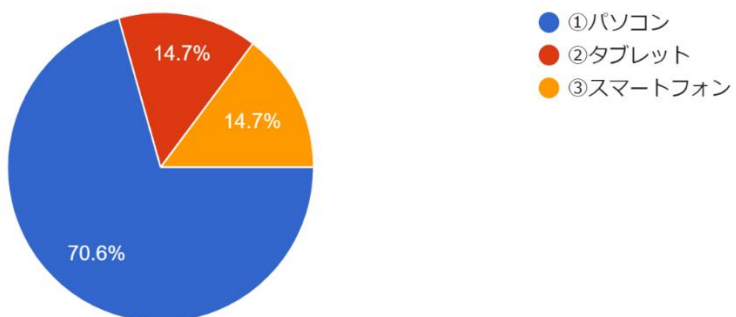
34 件の回答



①自宅	19
②職場	15
③公共施設	0
	34

どのようなデバイス(器機)を使用して参加しましたか？

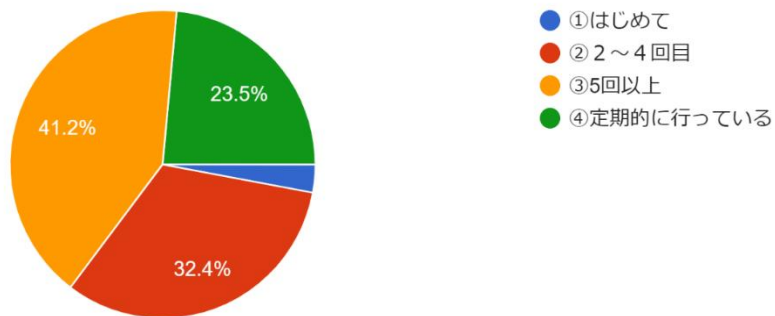
34 件の回答



①パソコン	24
②タブレット	5
③スマートフォン	5
	34

オンライン研修・会議等への参加経験はありますか？

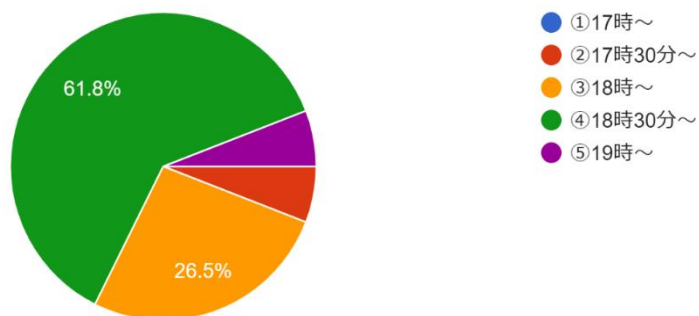
34 件の回答



①はじめて	1
②2～4回目	11
③5回以上	14
④定期的に行っている	8
	34

研修会の時間帯について希望する時間帯を下記からお選びください。

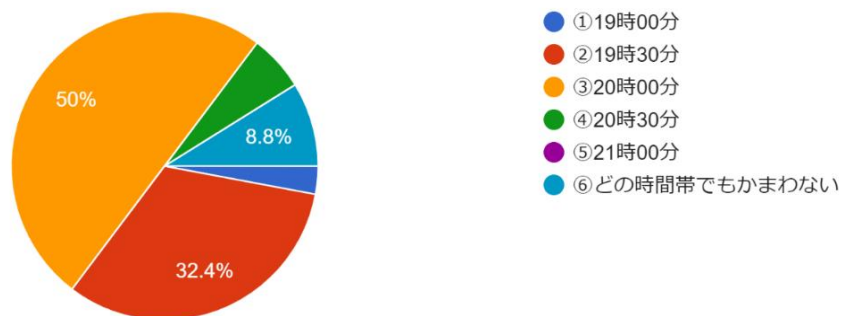
34 件の回答



①17時～	0
②17時30分～	2
③18時～	9
④18時30分～	21
⑤19時～	2
	34

研修会の終了時間について適切だと思う時間帯を下記からお選びください。

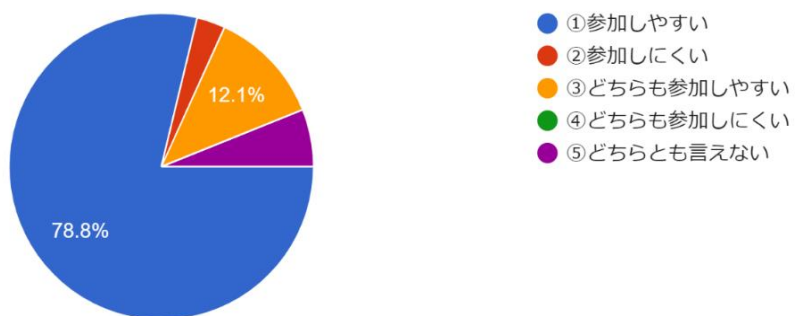
34 件の回答



①19時	1
②19時30分	11
③20時	17
④20時30分	2
⑤21時	0
⑥どの時間帯でもかまわない	3
	34

オンライン研修会の参加しやすさについて伺います。(通常の研修と比べて)

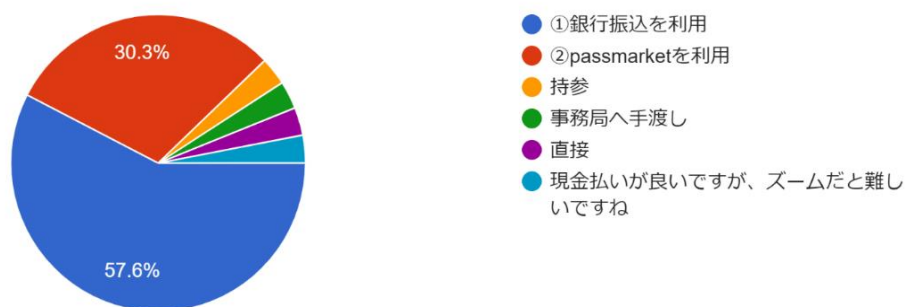
33 件の回答



①参加しやすい	26
②参加しにくい	1
③どちらも参加しやすい	4
④どちらも参加しにくい	0
⑤どちらとも言えない	2

参加費の徴収方法について

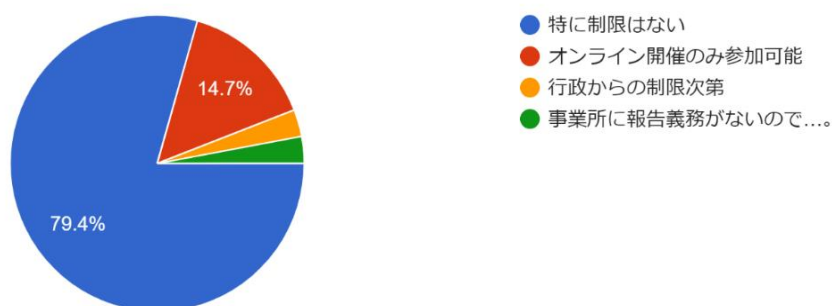
33 件の回答



①銀行振込を利用	19
②passmarketを利用	10
③その他	4
	33

コロナ禍の研修会参加にご自身の事業所では制限がありますか？

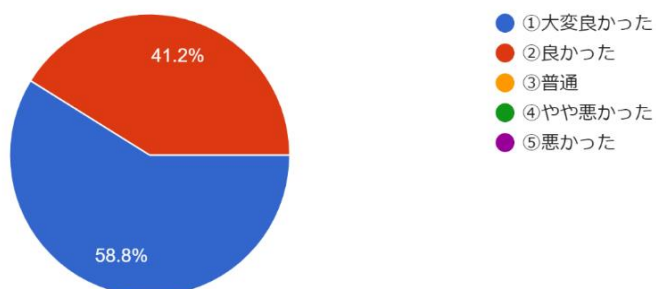
34 件の回答



①特に制限はない	27
②オンライン開催のみ参加可能	5
③その他	2

講演「精神科を知ろう！」の内容について

34 件の回答



①大変良かった	20
②良かった	14
③普通	0
④やや悪かった	0
⑤悪かった	0
	34

- ・非常に参考になりました。
- ・精神科の現状が判って非常に参考になった
- ・改めて身の引き締まる思いでした。
- ・今回の講義で精神科へ相談するべきかという悩みのハードルが下がりました。保険薬局として直接ではありませんが、ケアマネさんと相談して受診を勧めてもよいということも理解できました。とても勉強になる時間でした
- ・もう少し長くても集中して聞ける内容でした。今後、面談技法についての内容で開催を希望します。
- ・認知症の方（疑われる方）がより受診しやすい環境作りが大切だと感じた。健康診断の項目に入れるなどで対応できれば、より受診できる機会が増えると感じた。
- ・信頼関係の重要性を改めて感じました。
- ・精神科側も受診のハードルを下げることや受診への説得について地域の方々に一任しないで共に考えることが必要だと感じた。
- ・勉強になりました。
- ・入院生活を垣間見れて参考になりました
- ・基本を思い返す機会になった
- ・認知症に特化していたけど、やっぱり欲張って他の話にもなっていたかなあと感じました。それはそれで良いと思います。自身も認知症の方やその家族が利用者だったりするので、正解はないけど、参考になる話も聞けて良かったです。室蘭市は認知症支援を三愛病院さん・恵愛病院さんにお任せなので、市内でももっと支援して欲しいと思っています。
- ・勉強になったが、知りたい、聞きたいことが講演前よりも増えました。騙して連れてこないでくださいなどといった病院側の声に、ケアマネジャーとして反省点が多くありました。
- ・人と関わり方への基本が大事！というところが強調されてよかった。
- ・地域で相談員として従事。講演を聴き、医療機関とのやりとり（入院前・退院前相談）を密に行うことの大切さを改めて感じさせられた。業務を行う中で、精神疾患を抱えながらも、患者本人が入院を望まないケースが世間にまだ多くあると感じる。背景に、精神科病院へのハードルの高さ、精神疾患への偏見が関係しているからと考える。生きづらさや心の不調のことをもっと気軽に相談できる世の中になってほしいと思う。
そのために、今後地域の相談員として、精神科を受診することのメリットなどを適切に情報提供できるようになりたいと思った。
- ・認知症の方や精神疾患の方、パーズナリティ障害の方への接し方について、教えていた

だき改めて理解することができた。当たり前になっていると思っていたが、整理がついたいくつか注意点や技法もあったので、さらに勉強したい。地域の中で、相談に乗ってもらえる窓口として設置していると聞き、とても嬉しかった

当たり前のことがなかなかできない状況。本人より家族主体となってしまうがち（認知症の場合）精神疾患がある方との関わりについて、どこまで踏み込んでいいのか自分で線引きをしてしまう。これからはもう少し踏み込んで話してみたいと思いました。

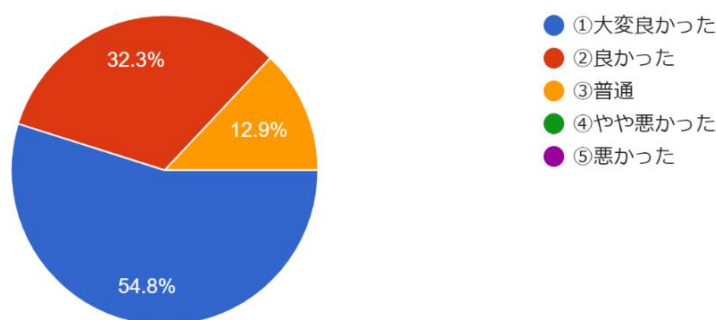
- ・私も精神科病院勤務であり、地域のケアマネジャーや入院を希望されるご家族に伝えるべき内容やニュアンスを再確認できた。研修という形でインプットすることで自分が相手側に話す際の伝え方を見直すきっかけにもなったと思う
- ・改めて精神科受診へのハードルがあると感じた。精神科と言われたら誰もが抵抗あるだろうし、受診しないかと言われたら自分が「おかしい人」とレッテルを貼られたように思うだろう。風邪と同じように気軽に罹ることが出来ないのは、そういった世間での風評もあるし、自分がインテークを取る時の態度や、Drに持っていく時のやり方ももう少し上手くやれば、受診に繋がった人はもう少し増えたのではないかと感じた。
- ・地域において精神科病院がどういう役割を持つのか、また様々な問題を抱えている患者さんに対してどのように関わっていけば良いのかがよく分かりました。今後支援に関わっていく中での一つの指標として胸の中に留めておきたいと思います。
- ・本人中心の考え方、関わりと信頼関係が大切、という考え方や、一緒に考えていく姿勢の大切さが勉強になりました。脳神経外科を主治医とする利用者様が、スーパーで万引きしてしまいそうになってスーパーから苦情を受けたり、徘徊先から警察にお世話になって帰宅することが起きて、精神科を受診することに至るまで家族の同意まで困難もあり、何件もの精神科に問い合わせさせていただいた事例があり、どういう状況で精神科に行くのかなと悩んでいました。今回の研修で受診の対象も学ぶことができ安心しました。入院がゴールではないという言葉も重く、入院して安心していただけ、外泊されており、退院後の生活についてご家族と話し合うことの必要を勉強させていただき、取り組んでいきたいと思います。本日は貴重な機会をどうもありがとうございました。
- ・今までなんとなく想像していた精神科病院の中身が見られたのは新鮮だった。日頃苦労している認知症の方との関わり方について、新たな視点を得られた。聞いて良かった
- ・入院形態を知らなかったので知識につながりました。
- ・前頭側頭葉型認知症であった祖父に対してもっと何か出来たのではないかと感じた。ディスカッションして思いついたが、がん検診のように検診として当たり前に精神科受診するような制度が整えば受診のハードルは下がるのではないかと感じた。
- ・受診前相談についての話は地域で支援する側として心強く感じます。又、入院がゴールではないというのも本当にその通りで、私が担当してる方が現在医療保護入院中で具体的な退院の目処も未定ですが、改めてその方の今後を見据えた支援体制について病院相談員と密に連絡を取り合い連携していきたいと思いました。
- ・本人に対して適切な対応が出来てるか、関係性を築けてるのか、今一度見直そうと思い

ました。精神科病院が気軽に受診や相談が出来る場所と思える人が、少しでも増えれば良いと思います。

- ・普段みえない医療の現場を見ることができた事、患者様との向き合い方等非常に勉強になった。
- ・説明が分かりやすく、精神科の実的な現状を聞けたように感じました。
- ・未受診の精神疾患が疑われる方についての合意形成のとりかたやテクニックなど具体的な話をもっと聞きたかったです。
- ・飽きずに聞くことができました。閉鎖病棟の写真は思ったより明るかったです
- ・精神科への受診前相談という意識が薄かった。あくまでも受診するための情報提供どまりだったので、積極的に活用していきたい。また、心療内科と精神科の違いを改めて学んでいる
- ・講演ありがとうございました。自分が想像していたよりも入院や受診に難色を示す方が多いと感じました。精神科領域の患者と接することが多いのでその日の状態で波がある方もいるためしっかりと聞いてあげるということを今後意識していきたいと感じました。
- ・わかりやすい講演で、時間があっという間に過ぎました。

感想共有について

31件の回答



①大変良かった	17
②良かった	10
③普通	4
④やや悪かった	0
⑤悪かった	0
	31

全体を通じての感想

- ・とても良い企画でした。
- ・感想共有の時間がもう少しあるといいですね
- ・またこのようなテーマでの話を期待します！

いたこと、お話を伺い、とても勉強になりました。

- ・感想共有の時間がもう少しあれば尚交流できたかと思います。
- ・ディスカッションの時間をもう少し長くとっても良かったかもしれません。ランダムของกลุ่ม分けは普段接しない方とお話できて良かったですね。
- ・ズーム参加はやはり参加しやすいので今後も続けて欲しい
- ・パーソナリティ障害の話のみの研修会をお願いします！もちろんその時も竹内さんが講師で！！
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・2年に1回ぐらい、このテーマでやりましょう！
- ・ブレイクアウトでは、地域の多職種の方たちが、こんなにも熱心に感が会えていることを知りとても心強く感じた。皆さんと手を取り地域のために頑張りたいと思った。精神疾患の患者さんへの関わりや、さまざまな課題は多くあり、内容も多様だと思う。今回の勉強会はとても学びになった。そしてやる気をかきたてられとても感謝している。ありがとうございました。
- ・本人もご家族も精神科受診と言うと、拒否が強い（特に認知症本人、自分は正常）と思い込んでいること、精神科に偏見を持っていること、が多く受診につなげることが難しい。パーソナリティ障害についてももう少し詳しく知りたいと思いました。自分が関わりを持ち、どうしたら良いのか？悩んだ時はすぐに相談したいと思います ありがとうございました
- ・発表者側の立場の職種として研修を受けさせていただきましたが、地域の支援者の方々の精神科病院への率直なイメージや悩んでいるケースの対応について話し合えたり、とても良かったです。また、zoomでの研修という経験を重ねることで操作も含め慣れる機会になってありがたいと思います
- ・他の事業所の視点や意見を知れたことがとても勉強になりました。感想共有の時間が少しだけ少なく感じました。
- ・感想共有の時間をいただき、ソーシャルワーカー、看護師、薬剤師、医師という、多職種の方々とお話しでき関わっている方々と一緒に考えていくことの大事さを実感し、協力していけるように日々取り組んでいきたいと思いました。
- ・働いている人の精神科受診についてももう少し聞きたかった。受診のタイミングはどういう時なのか、具体的な例も入れて。職員の中にはグレーなスタッフもいるので。グループワーク盛り上がりました。認知症の方への関わり方については、みんな一度は困っているの、共有出来る事が多かった。竹内さんのラフな感じの講演は、その後のグループワークにも言い影響を与えてますね。会の雰囲気も良くて、次も参加したいとなるような気がします！ ありがとうございました。
- ・精神科の関わりが少ないので興味につながりました。
- ・ディスカッションしたことで思いつかなかった意見を聞けたり、新たな考えが浮かび良かった。
- ・営業時間内での参加であった為途中途中 仕事で抜けてしまう事が有り全てを聞くことが出来なかったの、次回は余裕を持って参加したいと思います
- ・ズームでのグループワークが初めてで、戸惑いました。

- ・認知症は初期集中がありますが、精神疾患にはありません。病院側からアウトリーチし、受診のコンセンサスを得ることができるよう現場に出るチームが必要であると思います。ご検討ください。
- ・入院形態のところ「入院を必要とする精神障がい者」とは医師、医療機関はどのような状態を想定するか聞いたかったです。
- ・無駄のない話しぶりでサクサク進み、仕事の後なので聴講しやすかったです。もう少し共有時間があると良かったと個人的には思っています。
- ・また参加させていただきます。ありがとうございました。
- ・精神科受診に繋げる難しさを実感しました。自分自身、精神科に通院することには全く抵抗ないのですが、不眠に悩んで、家族に「精神科に行ってくる」と伝えたと、反対されました。周りのアドバイスを受け、不眠解消の為に色々取り組みましたが効果はなく、再度、家族に「メンタル受診する」と伝えたと、今度は反対されず...言い方一つで受ける印象がこんなに違うものか...と思いました。

【担当幹事】 竹内 亮平

【今回の目的】

テーマは『精神科を知ろう！～早期受診、早期治療の勧め～』。

在宅生活が続けられなくなる理由の一つに、認知症など精神疾患がある。認知症をはじめ、精神疾患の多くは早期治療が効果的とされているが、本人や家族のなかには精神科病院に抵抗があったり敷居が高いと感じ、適切なタイミングで精神科医療に繋がらない方も多い。まずは精神科医療についての基礎知識を学ぶことで、まずは支援者が精神科医療への抵抗や偏見をなくし、気軽に受診することができる様な支援体制の構築を目的とした。三愛病院の精神保健福祉士 竹内さんが話題提供者。精神科病院への受診の仕方などについて学び、さらなる連携を深める機会になることを期待した。

【タイムライン】

令和4年8月8日（月）

18：30～18：35 開会・会長挨拶、講師紹介

18：35～19：35 講演 「精神科を知ろう！」

特定医療法人社団千寿会三愛病院

精神保健福祉士 竹内 亮平 様

19：35～20：00 グループワーク（感想の共有）

20：00 閉会

【参加者からの声】

- ・精神科の現状が判って非常に参考になった。
- ・今回の講義で精神科へ相談するべきかという悩みのハードルが下がりました。 保険薬局として直接ではありませんが、ケアマネさんと相談して受診を勧めてもよいということも理解できました。とても勉強になる時間でした。
- ・認知症の方（疑われる方）がより受診しやすい環境作りが大切だと感じた。健康診断の項目に入れるなどで対応できれば、より受診できる機会が増えると感じた。
- ・信頼関係の重要性を改めて感じました。
- ・入院生活を垣間見れて参考になりました。
- ・室蘭市は認知症支援を三愛病院さん・恵愛病院さんにお任せなので、市内でももっと支援して欲しいと思っています。
- ・人と関わり方への基本が大事！というところが強調されてよかった。
- ・地域で相談員として従事。講演を聴き、医療機関とのやりとり（入院前・退院前相談）を密に行うことの大切さを改めて感じさせられた。業務を行う中で、精神疾患を抱えながらも、患者本人が入院を望まないケースが世間にまだ多くあると感じる。背景に、精神科病院へのハードルの高さ、精神疾患への偏見が関係しているからと考える。生きづ

らさや心の不調のことをもっと気軽に相談できる世の中になってほしいと思う。そのために、今後地域の相談員として、精神科を受診することのメリットなどを適切に情報提供できるようになりたいと思った。

- ・認知症の方や精神疾患の方、パーズナリティ障害の方への接し方について、教えていただき、改めて理解することができた。当たり前になっていると思っていたが、整理がついた。いくつか注意点や技法もあったので、さらに勉強したい。 地域の中で、相談に乗ってもらえる窓口として設置していると聞き、とても嬉しかった。当たり前のことがなかなかできない状況。本人より家族主体となってしまうがち（認知症の場合） 精神疾患がある方との関わりについて、どこまで踏み込んでいいのか自分で線引きをしてしまう。これからはもう少し踏み込んで話してみたいと思いました。

- ・改めて精神科受診へのハードルがあると感じた。精神科と言われたら誰もが抵抗あるだろうし、受診しないかと言われたら自分が「おかしい人」とレッテルを貼られたように思うだろう。風邪と同じように気軽に雇うことが出来ないのは、そういった世間での風評もあるし、自分がインテークを取る時の態度や、Dr に持っていく時のやり方ももう少し上手くやれば、受診に繋がった人はもう少し増えたのではないかと感じた。

- ・地域において精神科病院がどういう役割を持つのか、また様々な問題を抱えている患者さんに対してどのように関わっていけば良いのかがよく分かりました。今後支援に関わっていく中での一つの指標として胸の中に留めておきたいと思います。

- ・本人中心の考え方、関わりと信頼関係が大切、という考え方や、一緒に考えていく姿勢の大切さが勉強になりました。今回の研修で受診の対象も学ぶことができ安心しました。入院がゴールではないという言葉も重く、入院して安心していたところ、外泊されており、退院後の生活についてご家族と話し合うことの必要を勉強させていただき、取り組んでいきたいと思います。本日は貴重な機会をどうもありがとうございました。

- ・今までなんとなく想像していた精神科病院の中身が見られたのは新鮮だった。 日頃苦勞している認知症の方との関わり方について、新たな視点を得られた。聞いて良かった。

- ・受診前相談についての話は地域で支援する側として心強く感じます。 又、入院がゴールではないというのも本当にその通りで、私が担当してる方が現在医療保護入院中で具体的な退院の目処も未定ですが、改めてその方の今後を見据えた支援体制について病院相談員と密に連絡を取り合い連携していきたいと思いました。

- ・本人に対して適切な対応が出来てるか、関係性を築けてるのか、今一度見直そうと思いました。 精神科病院が気軽に受診や相談が出来る場所と思える人が、少しでも増えれば良いなと思います。

- ・説明が分かりやすく、精神科の実際的な現状を聞けたように感じました。

- ・未受診の精神疾患が疑われる方についての合意形成のとりかたやテクニックなど具体的な話をもっと聞きたかったです。

・精神科への受診前相談という意識が薄かった。あくまでも受診するための情報提供どまりだったので、積極的に活用していきたい。また、心療内科と精神科の違いを改めて学んでいる。

・講演ありがとうございました。自分が想像していたよりも入院や受診に難色を示す方が多いと感じました。精神科領域の患者と接することが多いのでその日の状態で波がある方もいるためしっかりと聞いてあげるということを今後意識していきたいと感じました。

【報告者からのまとめ】

精神科病院について、ソーシャルワーカーの立場から早期発見・早期治療の重要性を伝えた。それでも精神科受診をためらってしまう当事者の心情があり、そうした状況を支援者が理解し寄りそって関わることの大切さを共有することができた。認知症や精神疾患は、当事者自身が気づかない、もしくは否定してしまう病気でもある。そうした精神疾患の特徴や当事者自身の状況、置かれている環境も支援方針を検討する大切な要素となる。強制的な入院も可能である精神科病院での入院について、精神科病院への入院がゴールではなく、治療を終えれば退院があり必要以上に入院するべきではない、ということについても、地域の支援者の中で共有できたことは大きな収穫ではないかと感じている。

第73回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

テーマ いぶり初！看護小規模多機能型居宅介護(看多機)を知ろう
～医療依存度が高くても住み慣れた自宅で暮らしたい！～

日時：9月26日(月) 18:30～20:00

開催方法：オンライン型研修(Zoomにてリモート開催)

参加申込：URL、QRコードよりサイトにアクセスし必要情報入力の上、
申し込み。(別紙参照)



参加費：500円 **※定員に達した場合参加できない場合があります。**
＜内容＞

18:30～18:35 開会：会長挨拶、講師紹介

18:35～19:40 いぶり初！看護小規模多機能型居宅介護(看多機)を知ろう

看護小規模多機能型居宅介護つむぎ

藤井センター長、安田副センター長、小甲介護主任

講義+グループワーク

19:40～20:00 質疑応答 閉会



今月のポイント！

一人暮らしで「流動食・胃ろうになったら」、「自己注射出来なくなったら」、「家族の介護負担が増えたら」、ご本人は自宅で過ごしたいと思っても、入院や入所を検討せざるを得ない場合もあるかと思えます。そこで24時間365日、安全・安心な在宅療養を続けるためには、多様なサービスが不可欠です。看護・介護の専門職の目の行き届くところで「訪問サービス」や「通所」「宿泊」ができ、さらに療養上の不安や疑問を、看護職に気軽に相談できるサービスが在宅療養には重要です。今回はいぶり初！看多機つむぎの方々から実際の事例を通して看多機についてお話をしていただきます。2012年度から開始になったサービスですが、いぶりで初ということもあり内容を知っていただく良い機会になると思いますので多くの方のご参加お待ちしております。

【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

第73回西いぶり在宅ケア連絡会定例会 参加申込方法

- 参加申し込みの締め切りは9月20日(火)までとなります。
- 下記URLもしくはQRコードからサイトへアクセスし、必要事項を記入し、送信ボタン押す。

※参加にはPC、タブレットなどのデバイス(機器)が必要です。

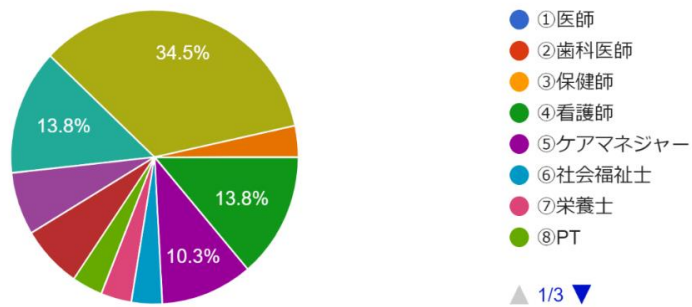


←QRコード

- URL:
<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdNHIhvWFIB1HU8p7GHG-cPihkTCiArc1-mgOxAosyjsKleyA/viewform>
- 申し込みいただいた方に順次、参加費の支払方法をお知らせ致します。Passmarketでの支払いか銀行振込にて徴収いたします。
その後、参加費の振り込みを確認し必要情報(URLなど)を定例会実施当日の9月26日(月)AMまでにお知らせいたします。
※参加申し込みをいただいた時点ですでに定員に達していた場合、定員に達した旨メールにてご連絡いたします。
- ご不明な点は事務局古里まで t.furusato@hcfm.jp
- 同一デバイスで複数の参加の場合でも必ず一人ずつ申し込みをしてください。

職種を教えてください。

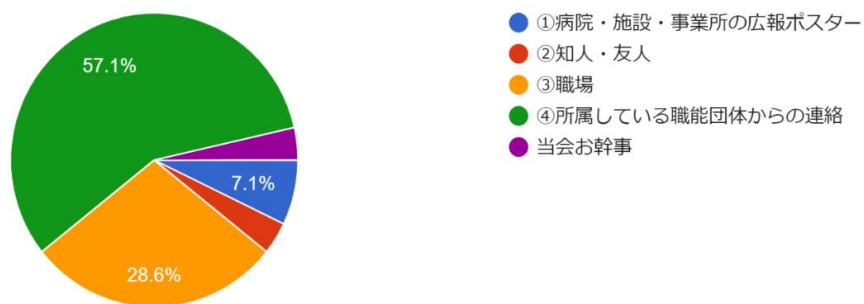
29 件の回答



薬剤師	10
PSW	4
看護師	4
ケアマネジャー	3
MSW	2
OT	2
介護福祉士	1
社会福祉士	1
栄養士	1
PT	1
	29

今回の研修会をどのように知りましたか？

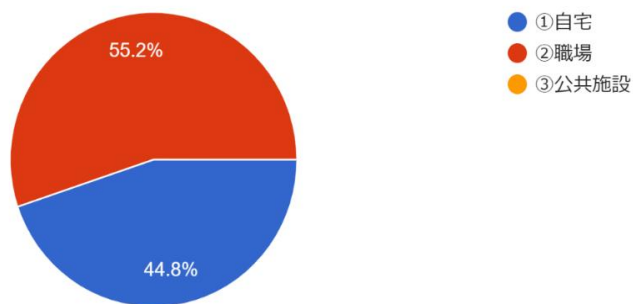
28 件の回答



① 広報ポスター	2
② 知人・友人	2
③ 職場	8
④ 職能団体	16
⑤ その他	1
	29

今回の研修会にはどこで視聴(参加)しましたか？

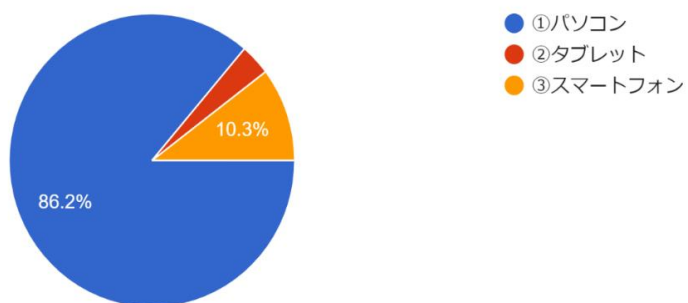
29 件の回答



①自宅	13
②職場	16
③公共施設	0
	29

どのようなデバイス(器機)を使用して参加しましたか？

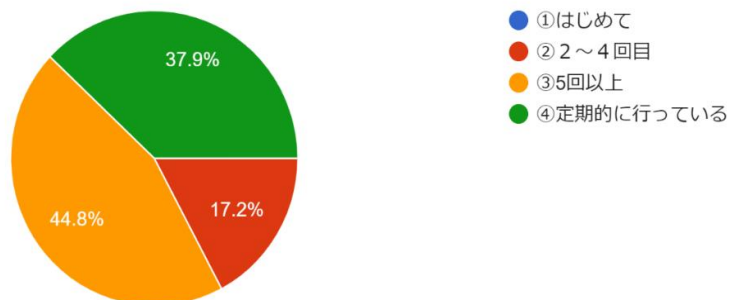
29 件の回答



①パソコン	25
②タブレット	1
③スマートフォン	3
	29

オンライン研修・会議等への参加経験はありますか？

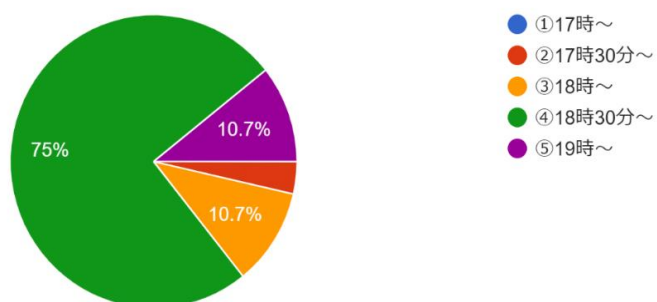
29 件の回答



①はじめて	0
②2～4回目	5
③5回以上	13
④定期的に行っている	11
	29

研修会の時間帯について希望する時間帯を下記からお選びください。

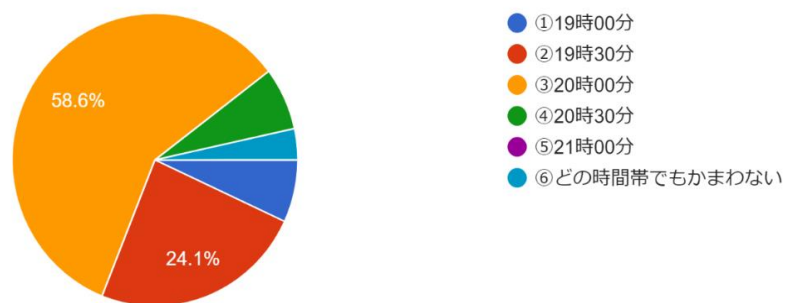
28 件の回答



①17時～	0
②17時30分～	1
③18時～	3
④18時30分～	21
⑤19時～	3
	28

研修会の終了時間について適切だと思う時間帯を下記からお選びください。

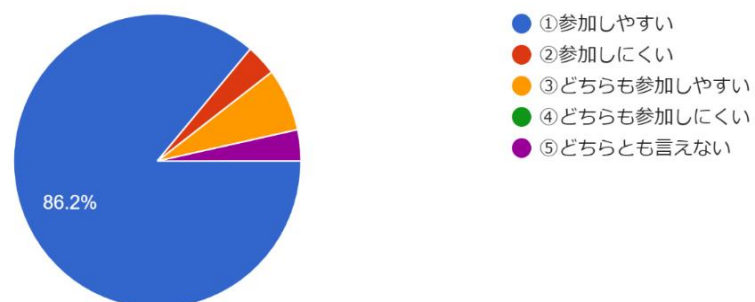
29 件の回答



①19時	2
②19時30分	7
③20時	17
④20時30分	2
⑤21時	0
⑥どの時間帯でもかまわ ない	1
	29

オンライン研修会の参加しやすさについて伺います。(通常の研修と比べて)

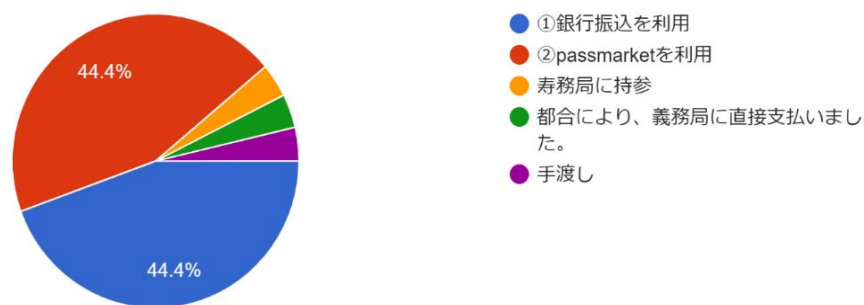
29 件の回答



①参加しやすい	25
②参加しにくい	1
③どちらも参加しやすい	2
④どちらも参加しにくい	0
⑤どちらとも言えない	1

参加費の徴収方法について

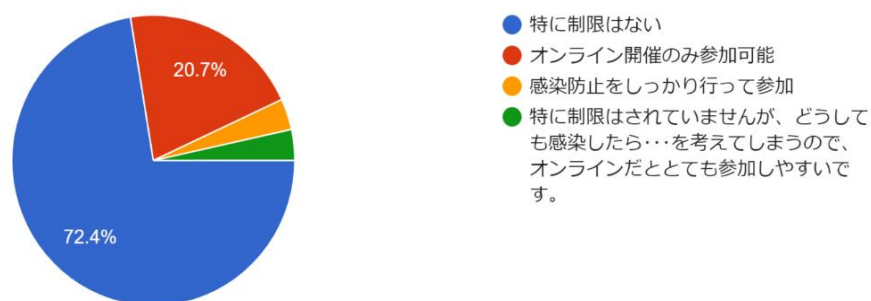
27 件の回答



①銀行振込を利用	12
②passmarketを利用	12
③その他	3
	27

コロナ禍の研修会参加にご自身の事業所では制限がありますか？

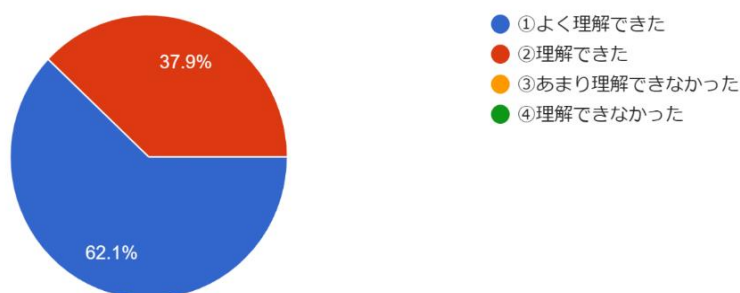
29 件の回答



①特に制限はない	21
②オンライン開催のみ参加可能	6
③その他	2

講演「いぶり初！看護小規模多機能型居宅介護（看多...れた自宅で暮らしたい！）」の内容について

29 件の回答



①よく理解できた	18
②理解できた	11
③あまり理解できなかった	0
④理解できなかった	0

講演についての感想(自由記載)

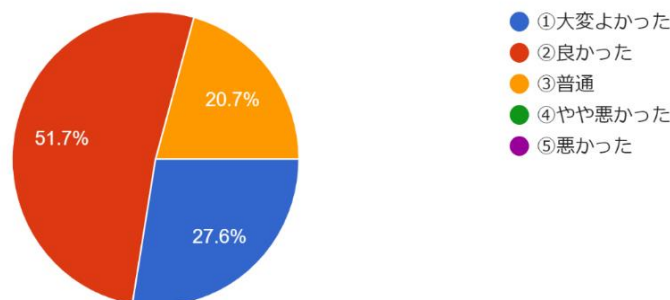
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました
- ・介護サービスについては詳しくないので、こういったものがあるんだなと驚きました
- ・とても参考になりました。
- ・介護の知識がまだまだないので難しかったがわかりやすかった
- ・もっと事前に勉強しておくべきでした。
- ・地域に看多機ができて、在宅で過ごしたい人の支援のツールがまた一つ増えたことがとてもうれしい。また内容を聞いて、スタッフの方の前向きで一生懸命なことに感動した。サービスについても、多めのサービスから...ととても良心的だったことに感心した。これからも頑張ってください。
- ・医療行為が多い人はどうしても在宅が難しいと判断されがちですし、そういった制度の狭間にいる人もサポートできる活動を行なっていらっしゃるのはすごいと思いました。実は初めて看多機という言葉聞いたので、他の市にも広まって欲しいと思います。
- ・コロナ禍では、院内からの指導・助言・準備では不十分な点が多々あることを知り、とても勉強になりました。
- ・期待以上の学びに感謝しています。
- ・とても分かりやすく理解できました。金額的なものがわかり参考になりました。
- ・看護小規模多機能型居宅介護について、貴重なお話が聞けて良かったです。医療を提供できることで、退院が可能になる方は多くいると思いますし、このような施設が増えればいいなと感じました。
- ・詳細に教えていただき感謝しています。今後、気軽に連携出来るよう、連絡を取り合う体制を作りたいと思います。
- ・みなさんの愛と熱意とパワーに圧倒されました。自分に何ができるのか、改めて考えたいです
- ・つむぎのみなさん、ありがとうございました。手厚いサービスであることを理解できましたし、みなさんのご報告や質問への受け答えをみて、スタッフさんおひとりおひとりのスキルの高さにも驚きました。ケース紹介でもありましたが、これまでなら在宅を諦めてしまう様なかたでも、看多機があると在宅復帰を考えることができるということを具体的に学ぶことができました。特に、ご家族に介護や医療行為の指導ができるということはとても良いことだと思いました。医療行為の指導は、小規模多機能を利用する目的にはなりづらいですね。室蘭市民だ

けのものになっていることが本当にもったいないと思いましたので、なんとかして登別、伊達、白老、苫小牧、さらに西胆振三町にも広がっていけばいいなととても思いました。それには、職員を確保できる医療法人が開設するのがいいのか、職員確保や特に看護師さんの確保、在宅医療に長けている看護師さんの確保となるとまたハードルが高い？とも感じました。在宅看護、在宅介護、在宅医療をやりたい！と思っている人に声かけたりできるといいですね。なんとか広がっていくといいサービスだと本当に思いました。また何かあれば気軽に相談させて頂こうと思いました。ありがとうございました。

- ・看多機が室蘭にできることは知りつつも、深く知ろうとする機会がなかったため学びになりました

事例をもとにしたグループワークについて

29 件の回答



①大変良かった	8
②良かった	15
③普通	3
④やや悪かった	0
⑤悪かった	0

全体を通じての感想

- ・グループワーク時にあまりいい意見を出せず申し訳ないですが、色々話を聞けて良かったです。
- ・多職種と関われたので良かった。在宅を始めたばかりなのでこれから勉強したい
- ・初めて参加させて頂きましたが、いろいろな職種の方々と勉強が出来て良い経験が出来ました。
- ・また、参加させてください。
- ・自宅での看取りを希望する利用者様が増え、看多機ができ心強く、話を聞けて良かったです。ありがとうございました。
- ・多職種連携の必要性を改めて感じました
- ・本当にとても良かったと思います。こうした良質な地域の社会資源を知るという

事は、病院ソーシャルワーカーの責務だとも感じています。地域のサービス紹介を含む研修会には、ケアマネさんはもちろんですが、総合病院のソーシャルワーカーも積極的に参加して欲しいと感じた研修内容でした。もうすでに知っている内容？ほかに研修会などで行っていた？それにしても、とても良かったです。企画して頂きありがとうございました。

【担当幹事 西島 智恵】

【定例会の目的】

一人暮らしで「流動食・胃ろうになったら」、「自己注射出来なくなったら」、「家族の介護負担が増えたら」、ご本人は自宅で過ごしたいと思っても、入院や入所を検討せざるを得ない場合もあるかと思います。そこで 24 時間 365 日、安全・安心な在宅療養を続けるためには、多様なサービスが不可欠です。看護・介護の専門職の目の行き届くところで「訪問サービス」や「通所」「宿泊」ができ、さらに療養上の不安や疑問を、看護職に気軽に相談できるサービスが在宅療養には重要です。今回はいぶり初！看多機つむぎの方々から実際の事例を通して看多機についてお話をして頂きます。2012 年度から開始になったサービスですが、いぶりで初ということもあり内容を知っていただく良い機会になると思い企画しました。

【タイムライン】

令和 4 年 9 月 26 日（月）

- 18:30-18:35 開会あいさつ、ZOOM の説明、プレゼンターの紹介
- 18:35-18:50 看護小規模多機能居宅介護の概論
- 18:50-19:15 1 事例目の事例紹介と GW、事業所としてのかかわり方
- 19:15-19:40 2 事例目の事例紹介と GW、事業所としてのかかわり方
- 19:40-19:55 質疑応答
- 19:55-20:00 閉会挨拶、アンケートのお願い、個人情報に関してのお願い

【参加者からの声】

- ・大変勉強になった。金額的な部分も分かってよかった。
- ・介護サービスには詳しくないので、こういったものがあるんだと驚いた。
- ・介護の知識がまだまだなので難しかったがわかりやすかった。
- ・地域に看多機ができて、在宅で過ごしたい人の支援ツールがまた一つ増えたことはとてもうれしい。スタッフが前向きで一生懸命なところも感動した。
- ・医療行為が多い人はどうしても在宅が難しいと判断されがち。そういった制度の狭間にいる人もサポートできる活動を行っているのはすごいと思った。初めて看多機を知った。他の市にも広まってほしい。
- ・期待以上の学びに感謝。
- ・医療を提供できることで、退院が可能となる方は多くいると思う。
- ・気軽に連携できるように連絡を取り合う体制を作りたい。
- ・みなさんの愛と熱意とパワーで圧倒された。自分に何ができるか改めて考えたい。

・手厚いサービスであることを理解しましたし、皆さんの報告や質問への受け答えをみて、スタッフ一人一人のスキルの高さにも驚きました。ケースでもありましたが、これまでなら在宅をあきらめてしまうような方でも。看多機があると在宅復帰を考えることができるということを具体的に学びました。特に、家族に介護や医療行為の指導ができるということはとても良いことだと思いました。室蘭市民のものだけになっていることがもったいないと思いましたので、何とか登別や伊達、白老、苫小牧さらには西いぶり3町にも広がるといいなと思いました。それには職員確保ができる医療法人が開設するのがいいのか？

・在宅に長けた看護師の確保となるとハードルが高いのではとも感じました。在宅看護・介護・医療をやりたいと思っている人に声掛けできるといいですね。広がっていくといいサービスだと本当に思いました。

・多職種連携の必要性を改めて感じた。

・自宅での看取りを希望する利用者が増え、看多機ができて心強く、話を聞けて良かった。

・こうした良質の地域の社会資源を知ることは病院ソーシャルワーカーの責務だと感じた。地域のサービス紹介を含む研修会には、ケアマネはもちろんですが、総合病院のソーシャルワーカーも積極的に参加してほしいと感じた研修内容だった。

【報告者からのまとめ】

医療依存度の高い人や退院直後で状態が不安定な人、在宅での看取り支援など、住み慣れた自宅での療養を支える介護保険サービスとして2012年から複合型サービスとして開始となり、2015年に4月に「看護小規模多機能型居宅介護」に変更された、胆振初のサービスとして今回は事例を通して内容を分かりやすく紹介してもらいました。

コロナ禍で自宅での看取りも希望する方が増えてきていますが、介護力がなく、自宅をあきらめる方も多く、看多機というサービスが増えたことで地域の方々の選択肢も増えていくと思われます。関わる専門職種が家族や本人の意向をしっかりと受け止め、少しでも希望がかなえられるように、いろいろなサービス内容をしっかり知っておくことが大切だと改めて感じる研修でした。

第74回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

テーマ 高齢者等の権利擁護について～司法書士の立場から～

日 時 : 12月9日(金) 18:30～20:00

開催方法 : オンライン型研修(Zoomにてリモート開催)

参加申込 : URL、QRコードよりサイトにアクセスし必要情報入力の上、
申し込み。(別紙参照)申込締め切り: 12月5日(月)まで



参加費 : 500円 ※定員に達した場合参加できない場合があります。
＜内 容＞

18:30～18:35 開会:会長挨拶、講師紹介

18:35～19:35 講演

司法書士伊奈綾事務所

司法書士 伊奈 綾 様

19:35～19:50 グループワーク

19:50～20:00 質疑応答 閉会



今月のポイント！

皆さんは司法書士さんがどのようなお仕事をされているかご存知でしょうか？不動産の登記、相続・遺言、空き家対策、そして成年後見人など業務は多岐にわたります。昨今、高齢者支援の場を中心に、成年後見制度が広く活用されるようになりました。病気などを理由に判断能力が低下した場合に本人の財産や権利を保護する制度です。そして、超高齢社会に突入している今こそ、その制度の活用や支援について、私たち支援者がさらに詳しく知っておく必要性があると感じています。今回、講師に西胆振地域を中心に広くご活躍されている司法書士の伊奈綾先生をお招きし、成年後見制度や司法書士の仕事、後見人とケアマネジャーとの連携事例などについてお話頂きます。普段は聞けない話が盛りだくさんです！是非ご参加ください！

【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

第74回西いぶり在宅ケア連絡会定例会 参加申込方法

- 参加申し込みの締め切りは12月5日(月)までとなります。
- 下記URLもしくはQRコードからサイトへアクセスし、必要事項を記入し、送信ボタン押す。

※参加にはPC、タブレットなどのデバイス(機器)が必要です。

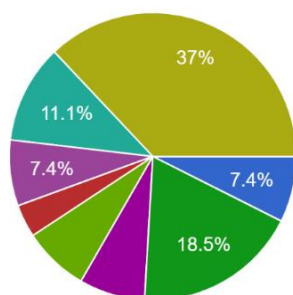


←QRコード

- URL: <https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSckNn-bhC8IT-GOSqqOEGm4cpvO5bZMKRXHxpFHQ52F62M64A/viewform>
- 申し込みいただいた方に順次、参加費の支払方法をお知らせ致します。Passmarketでの支払いか銀行振込にて徴収いたします。
その後、参加費の振り込みを確認し必要情報(URLなど)を定例会実施当日の12月9日(金)AMまでにお知らせいたします。
※参加申し込みをいただいた時点ですでに定員に達していた場合、定員に達した旨メールにてご連絡いたします。
- ご不明な点は事務局古里まで t.furusato@hcfm.jp
- 同一デバイス(パソコン等)を使用し、複数の参加する場合でも必ず一人ずつ申し込みをしてください。

職種を教えてください。

27 件の回答

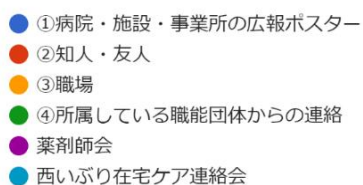
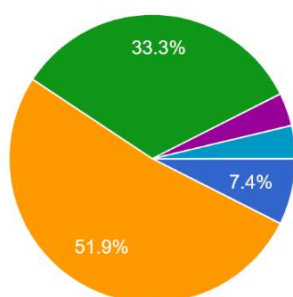


薬剤師	10
看護師	5
PSW	3
医師	2
ケアマネジャー	2
PT	2
MSW	2
OT	1
	27

※アンケート回答者27名

今回の研修会をどのように知りましたか？

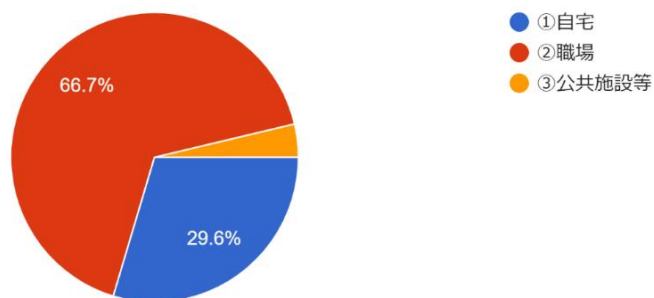
27 件の回答



①広報ポスター	2
②知人友人	0
③職場	14
④職能団体	9
⑤その他	2

今回の研修会にはどこで視聴(参加)しましたか？

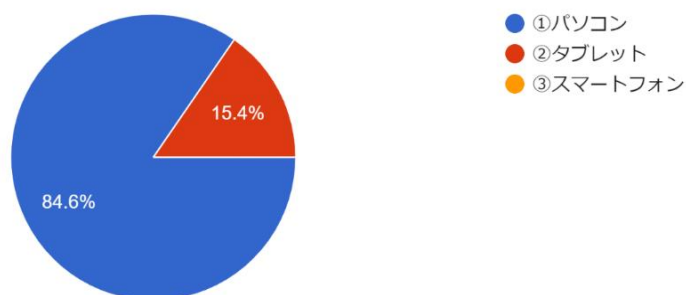
27 件の回答



①自宅	8
②職場	18
③公共施設	1

どのようなデバイス(器機)を使用して参加しましたか？

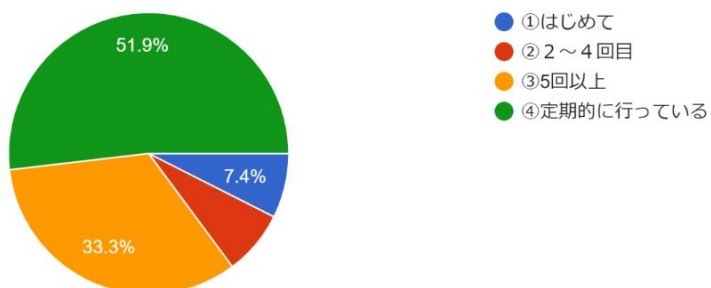
26 件の回答



①パソコン	22
②タブレット	4
③スマートフォン	0

オンライン研修・会議等への参加経験はありますか？

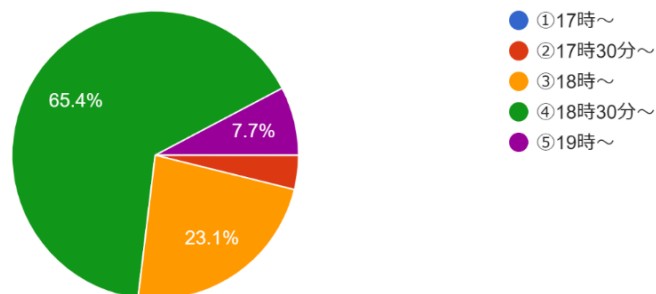
27 件の回答



①はじめて	2
②2～4回目	2
③5回以上	9
④定期的に行っている	14

研修会の時間帯について希望する時間帯を下記からお選びください。

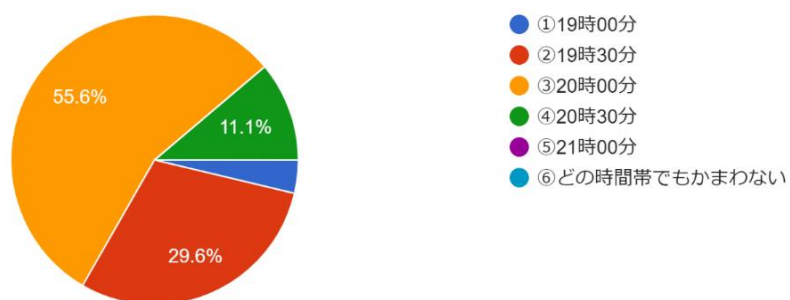
26 件の回答



①17時～	0
②17時30分～	1
③18時～	6
④18時30分～	17
⑤19時～	2

研修会の終了時間について適切だと思う時間帯を下記からお選びください。

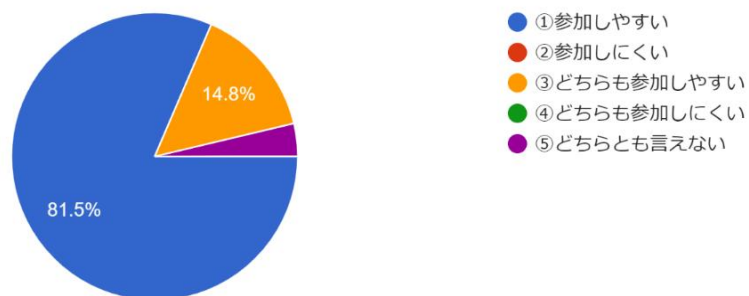
27 件の回答



①19時	1
②19時30分	8
③20時	15
④20時30分	3
⑤21時	0
⑥どの時間でもOK	0

オンライン研修会の参加しやすさについて伺います。(通常の研修と比べて)

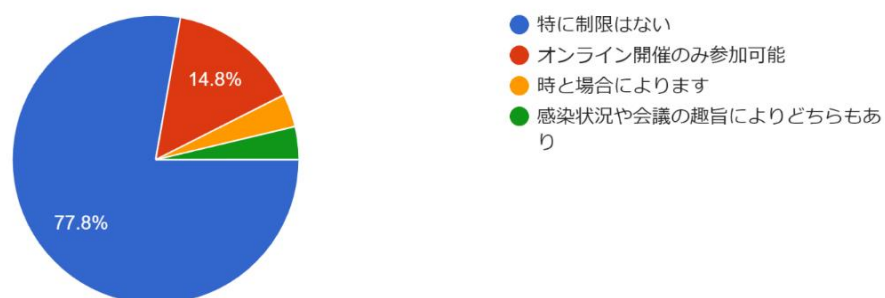
27 件の回答



①参加しやすい	22
②参加しにくい	0
③どちらも参加しやすい	4
④どちらも参加しにくい	1
⑤どちらとも言えない	0

コロナ禍の研修会参加にご自身の事業所では制限がありますか？

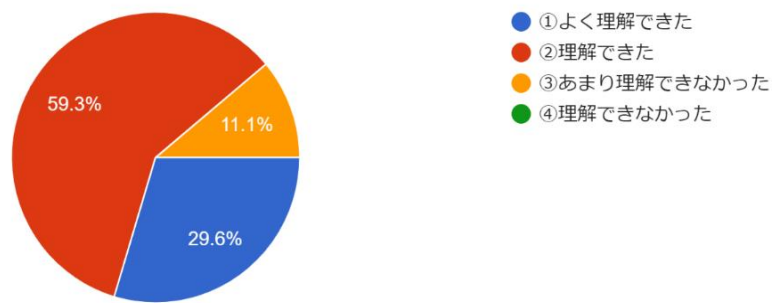
27 件の回答



①特に制限はない	21
②オンライン開催のみ	4
③その他	2

講演「高齢者等の権利擁護について～司法書士の立場から～」の内容について

27 件の回答

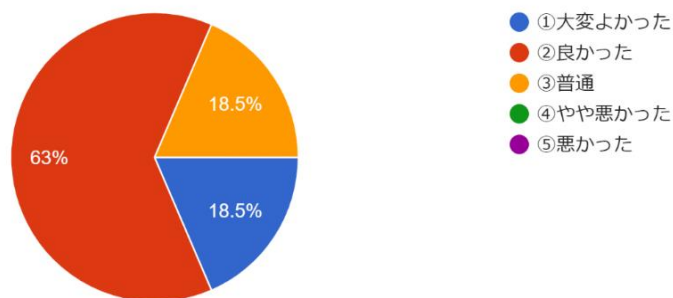


①よく理解できた	8
②理解できた	16
③あまり理解できなかった	3
④理解できなかった	0

- ・ 成年後見制度、後見人の役割について理解できました。もっと色々な事例から、司法書士、後見人が出来ること、動きを知りたいと思いました。
- ・ 全体的にわかりやすく聞きやすかったです。伊奈さんは業務でもお世話になりました。本人を大切に作る素敵な人だと思っていたのが、講演でもすごく感じました。
- ・ 成年後見人制度について知識を整理することが出来ました、ありがとうございました。
- ・ 外来が終わらずあまり聞けていなかった。
- ・ 成年後見と聞くととても専門的な印象を持っておりました。参加して、ご本人のこれからに関わる大事なことだと思いました。
- ・ 成年後見人と聞くとハードルが高そうなイメージがありました。今回の講演を聞き、そのハードルが少し低くなったように思います。
- ・ 難しかったが勉強になりました。
- ・ 難しい制度で、また第2弾、こんな時はどうすれば・・・など事前の質問に回答してもらえると、わかりやすいかもしれません。
- ・ 普段あまり勉強する機会のない議題だったので大変参考になりました。
- ・ 該当しそうな利用者さんがいるので興味深かった。

- ・今まで関わったことのない内容で、もっと勉強しないといけないと思いました。
- ・後見制度を利用した方、これから利用しようとしてる方などまだ担当したことがなく先にこのように勉強できて良かったです。また事例で考えるとよりわかりやすく大変勉強になりました。今後必要な方を担当した際色々と疑問が出てくると思う中で伊奈先生とお近づきになれて安心です ありがとうございます
- ・実際行われている先生の話が聞けてとてもよかったが1回では理解は難しいかも？
- ・制度自体がはじめて知ったので大変勉強になりました。実際はどのように勧めているのか（薬局で相談されたら誰に相談すべきか）、自分のことも含めて考えさせられました。ありがとうございます。
- ・講演ありがとうございました。薬剤師としてあまり考えたことのない視点の話で勉強になりました。今回の内容も全て理解できたわけではないので今後患者から相談を受ける可能性を考えて理解を深めたいと思いました。
- ・途中から参加させていただきました。成人後見人は学生時代に少し授業で取り上げられたな...くらいの記憶しかなく、全く分からない世界のお話で、大変興味深く勉強させていただきました。途中からしか参加できなかったのが悔やまれます...
- ・制度の仕組みや内容、現状や改正についてわかりやすく学べました。現在担当の事例で後見人制度を検討したことあり、遺言書保管制度について今回知ることができ、そちらを検討していきたいと考えています。どうもありがとうございます。
- ・業務の中で成年後見制度について触れる機会が何度かあり、改めてどのような制度なのか、何ができて何ができないのか確認することができました。
- ・後見人など普段の業務ではあまり関わりのないことだと感じていたが、お話を聞かせていただき、理解をめることが出来た。話し方や声のトーンなど聞き取りやすく、話し方の参考になった。

グループワークについて
27 件の回答



①大変よかった	5
②良かった	17
③普通	5
④やや悪かった	0
⑤悪かった	0

- ・ 地域と病院の関わりについて
- ・ ケース 3 つぐらいを、扱いながら解説というスタイルも面白いと思います。
- ・ ケアマネージャーのお仕事について
- ・ 病院とケアマネとの連携や地域包括支援センターとの連携について、在宅での生活についてもっと知りたいと思いました。
- ・ 訪問リハ連絡会の幹事(成田・高橋)が講師の登別市の介護予防事業の報告を企画して欲しい。
- ・ 若年性認知症のケア、高齢者の複数の病院を受診が困難なことへの対応など

- ・ 参加しやすい研修でした また機会があれば参加したいです
- ・ 薬剤師さんが多いグループで、勉強のために参加しており、ソーシャルワーカーとして勝手に嬉しくなりました。多職種で本人のことを考えられたらより良くなるなと思いました。

- ・権利擁護について法律的な部分からお話をきくのも勉強になり良いですね。小林先生にもいらしていただきありがとうございました。
- ・認知症の患者の制度的な部分がしれたのでよかった
- ・参加出来て良かったです。ありがとうございました。
- ・また参加して勉強したいと思います。よろしくお願い致します。
- ・実際にお会いして話したいと思います。
- ・PCの関係もあると思いますがグループワークで通信障害が発生し聞き取りにくい部分がありました。
- ・グループワークの時間拡大⇔長いと間延びするのでメリハリも大事？
- ・医療とまた違った視点で今回興味がわきました。
- ・本日はお忙しい中開催ありがとうございました。
- ・薬局で勤務していますので、施設や在宅の方にいかに薬剤師が介入していくか、どういった貢献ができるかといった観点で普段から考えていましたが、その前の施設の契約者がいないなどのハードルや問題点、SWさん、CMさんのご苦労があるのがよく分かりました。薬剤師としての介入という点では難しいのかもしれませんが、多職種との連携という意味で、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・担当事例について後見人制度を検討していたので、今回学んだことを活かして遺言書保管制度など検討し、事前に対応をしていきたいと思いました。後見人制度の実際についてお聞きできる貴重な機会をどうもありがとうございます。グループワークは音声が途切れてしまいうまく会話できず申し訳ございませんでした。SWの方や薬剤師の方々の意見をお聞きできて勉強になりました。ありがとうございました。
- ・貴重なお話を聞かせていただき大変参考になりました。何点か質問がありました。後見人となった場合に、どの程度までの権利（決定権？裁量？）が与えられるのか施設を検討する・財産を管理するなどの際に、どこまで後見人に任されるのか判断力のない事例にとって必要な事であろうと思われることでも本人が拒否した場合はどうなるのか 自宅などを売却した後に、売りとくなくったなど本人や家族に後 から言われた場合はどうなるのか

【担当幹事】 竹内 亮平

【今回の目的】

テーマは『高齢者等の権利擁護について～司法書士の立場から～』。講師に西胆振地域を中心に広くご活躍されている司法書士の伊奈綾先生を招き、成年後見制度について司法書士の具体的な仕事について説明して頂き、後見人とケアマネジャーとの連携強化に繋がることを目的とした。高齢者等の権利擁護という観点で、超高齢社会に突入しているいまこそ、成年後見制度等の活用によりこういった支援が行えるかについて、私たち支援者がさらに詳しく知っておく必要性を感じている。

【タイムライン】

令和4年12月9日（金）

18：30～18：35 開会・会長挨拶、講師紹介

18：35～19：35 講演「高齢者等の権利擁護について

～司法書士の立場から～」

伊奈綾司法書士事務所

司法書士 伊奈 綾 様

19：35～19：50 グループワーク

19：50～20：00 質疑応答 閉会

【参加者からの声】

- ・成年後見制度、後見人の役割について理解できました。もっと色々な事例から、司法書士、後見人が出来ること、動きを知りたいと思いました。
- ・全体的にわかりやすく聞きやすかったです。伊奈さんは業務でもお世話になりました、本人を大切に作る素敵な人だなと思っていたのが、講演でもすごく感じました。
- ・成年後見人制度について知識を整理することが出来ました、ありがとうございました。
- ・成年後見と聞くととても専門的な印象を持っておりました。参加して、ご本人のこれから関わる大事なことだと思いました。
- ・成年後見人と聞くとハードルが高そうなイメージがありました。今回の講演を聞き、そのハードルが少し低くなったように思います。
- ・難しい制度で、また第2弾、こんな時はどうすれば・・・など事前の質問に回答してもらえると、わかりやすいかもしれません。
- ・普段あまり勉強する機会のない議題だったので大変参考になりました。
- ・該当しそうな利用者さんがいるので興味深かった。
- ・今まで関わったことのない内容で、もっと勉強しないといけないと思いました。
- ・後見制度を利用した方、これから利用しようとしてる方などまだ担当したことがな

く、先にこのように勉強できてよかったです。また事例で考えるとよりわかりやすく大変勉強になりました。今後必要な方を担当した際色々と疑問が出てくると思う中で伊奈先生とお近づきになれて安心です。ありがとうございました。

- ・ 実際行われている先生の話が聞けてとてもよかったが1回では理解は難しいかも？
- ・ 制度自体がはじめて知ったので大変勉強になりました。実際はどのように勧めているのか（薬局で相談されたら誰に相談すべきか）、自分のことも含めて考えさせられました。ありがとうございました。
- ・ 講演ありがとうございました。薬剤師としてあまり考えたことのない視点の話で勉強になりました。今回の内容も全て理解できたわけではないので今後患者から相談を受ける可能性を考えて理解を深めたいと思いました。
- ・ 制度の仕組みや内容、現状や改正についてわかりやすく学びました。現在担当の事例で後見人制度を検討したことあり、遺言書保管制度について今回知ることができ、そちらを検討していきたいと考えています。どうもありがとうございます。
- ・ 業務の中で成年後見制度について触れる機会が何度かあり、改めてどのような制度なのか、何ができて何ができないのか確認することができました。
- ・ 後見人など普段の業務ではあまり関わりのないことだと感じていたが、お話を聞かせていただき、理解を深めることが出来た。話し方や声のトーンなど聞き取りやすく、話し方の参考になった。

【報告者からのまとめ】

講師の伊奈綾先生より、成年後見制度の基礎知識やこれからの運用における課題についてお話し頂いた。超高齢社会を迎えている今の西胆振地域において、後見人の担い手が足りていないことや、任意後見の必要性、財産管理や身上保護における基本的な考え方について学んだ。ケアマネジャーやソーシャルワーカー、門前薬局の薬剤師等が参加していたことで、身近に認知症など認知機能の低下の恐れがある方を支援している専門職にとって、今後の支援や連携強化に活かすことができる内容だったと感じている。また、遺言という制度や空き家問題など、普段はあまり深める事のできない話題についても触れて頂き、知識を深める機会となった。グループワークでは、事例検討を行い、相続対象者についてや親族が疎遠になっている場合など、成年後見制度を活用する際の課題についても話し合った。所属機関や職種によってもアプローチは異なるが、共通の知識を持ち支援していくことが大切であることを共有できた。

第75回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

テーマ 支援を拒むセルフネグレクトについて

日 時 : 3月6日(月) 18:30~20:00

開催方法 : オンライン型研修(Zoomにてリモート開催)

参加申込 : URL、QRコードよりサイトにアクセスし必要情報入力の上、
申し込み。(別紙参照)申込締め切り:3月1日(水)まで

参加費 : 500円 ※定員に達した場合参加できない場合があります。

<内 容>

18:30~18:35 開会:会長挨拶、講師紹介

18:35~18:50 講演「虐待について」

室蘭市地域包括支援センター白鳥ハイツ 社会福祉士 本堂 裕恭 様

18:50~19:05 事例発表「支援を拒むセルフネグレクトケースについて」

室蘭市地域包括支援センター 母恋 社会福祉士 戸ノ崎 和樹 様

19:05~20:00 グループディスカッション・報告・閉会



今月のポイント！

皆さま、セルフネグレクトという言葉をご存知でしょうか。

ネグレクトとは、『世話や養育をすべき人がその責任を果たさず、放棄・放置する事態』を意味しますが、この様なネグレクトが自らに向けた状態をセルフネグレクトと言います。適切な食事を摂らない、着替えをしない、洗濯や掃除をしない等、不健康な生活から治療や介護を拒否する事による生命の危険、孤立死など適切な支援が必要となります。しかし、セルフネグレクトの方は支援介入を拒否してしまうことが多いため困難事例となる事も多く、多くの支援者が関わり検討することが求められます。

今回、講師のお二人にはセルフネグレクトを含む虐待に関するミニ講話と「支援を拒む」実際の事例の報告をして頂きます。事例を通してセルフネグレクトの現状、多職種連携、支援の方法等を学び、最後にはグループディスカッションを行いたいと思っています。多くの方のご参加をお待ちしています。

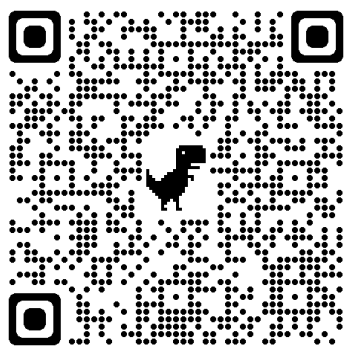
【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

第75回西いぶり在宅ケア連絡会定例会 参加申込方法

- 参加申し込みの締め切りは3月1日(水)までとなります。
- 下記URLもしくはQRコードからサイトへアクセスし、必要事項を記入し、送信ボタン押す。

※参加にはPC、タブレットなどのデバイス(機器)が必要です。

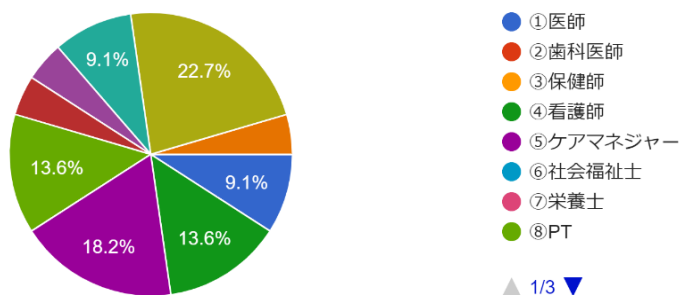


←QRコード

- URL
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScrPLBuEvzcZRenRUdq_KWaGidIBKRF2iwW-gjfb1tI8bGjXQ/viewform
- 申し込みいただいた方に順次、メールにて参加費の支払方法をお知らせ致します。Passmarketでの支払いか銀行振込にて徴収いたします。
その後、参加費の振り込みを確認し必要情報(URLなど)を定例会実施当日の3月6日(月)AMまでにお知らせいたします。
※参加申し込みをいただいた時点ですでに定員に達していた場合、定員に達した旨メールにてご連絡いたします。
- ご不明な点は事務局古里まで t.furusato@hcfm.jp
- 同一デバイス(パソコン等)を使用し、複数の参加する場合でも必ず一人ずつ申し込みをしてください。

職種を教えてください。

22 件の回答



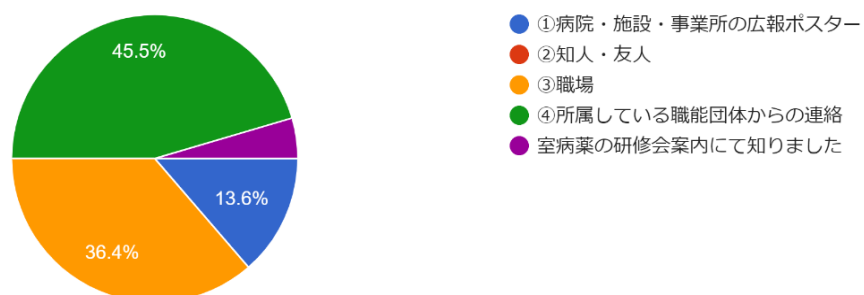
薬剤師	5
ケアマネジャー	4
看護師	3
PT	3
医師	2
PSW	2
その他	3

22

※アンケート回答者22名

今回の研修会をどのように知りましたか？

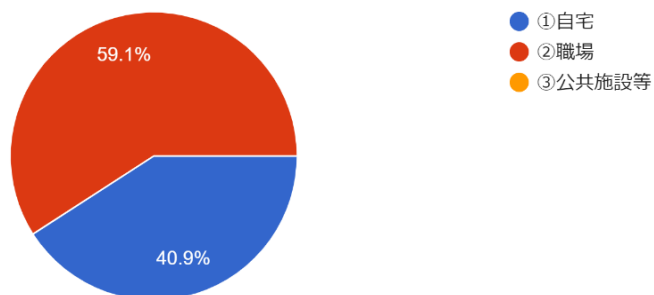
22 件の回答



①広報ポスター	3
②知人友人	0
③職場	8
④職能団体	10
⑤その他	1

今回の研修会にはどこで視聴(参加)しましたか？

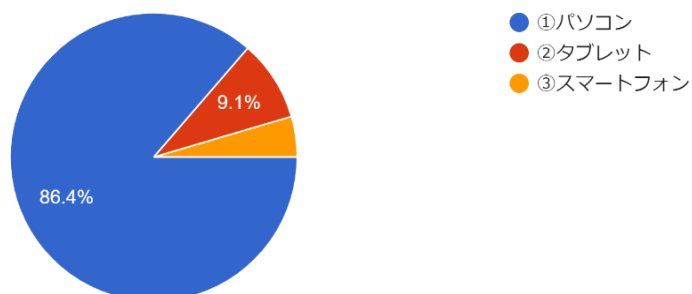
22 件の回答



①自宅	9
②職場	13
③公共施設	0

どのようなデバイス(器機)を使用して参加しましたか？

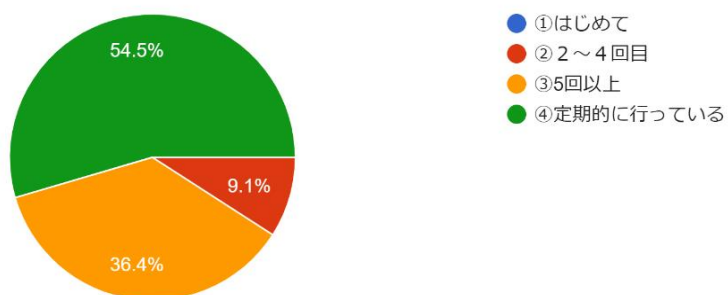
22 件の回答



①パソコン	19
②タブレット	2
③スマートフォン	1

オンライン研修・会議等への参加経験はありますか？

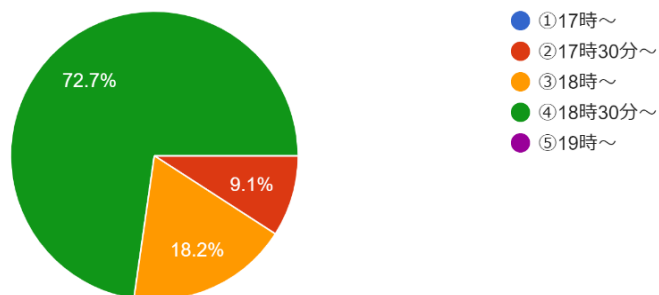
22 件の回答



①はじめて	0
②2～4回目	2
③5回以上	8
④定期的に行っている	12

研修会の時間帯について希望する時間帯を下記からお選びください。

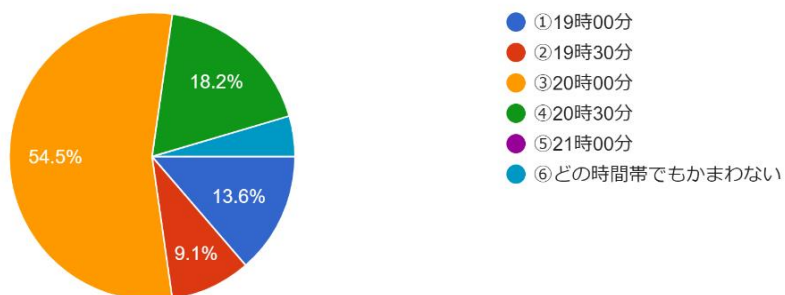
22 件の回答



①17時～	0
②17時30分～	2
③18時～	4
④18時30分～	16
⑤19時～	0

研修会の終了時間について適切だと思う時間帯を下記からお選びください。

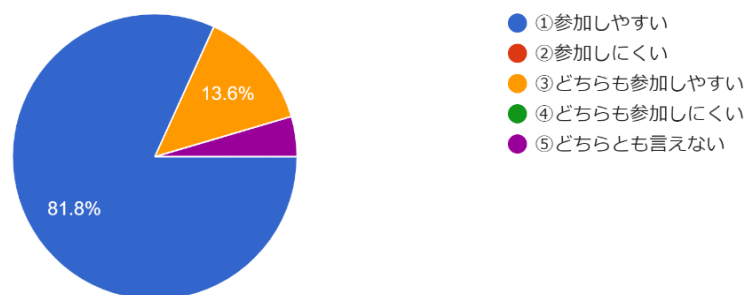
22 件の回答



①19時	3
②19時30分	2
③20時	12
④20時30分	4
⑤21時	0
⑥どの時間でもOK	1

オンライン研修会の参加しやすさについて伺います。(通常の研修と比べて)

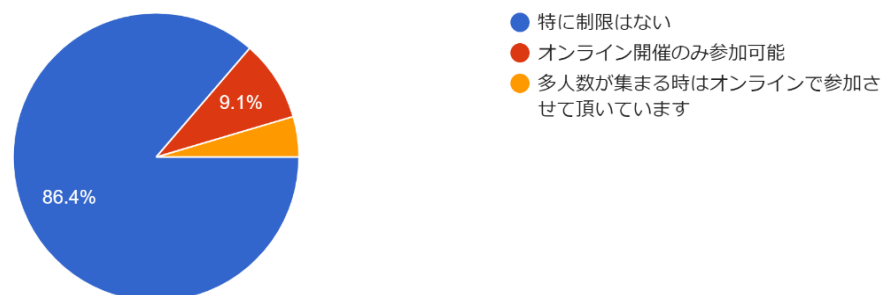
22 件の回答



①参加しやすい	18
②参加しにくい	0
③どちらも参加しやすい	3
④どちらも参加しにくい	0
⑤どちらとも言えない	1

コロナ禍の研修会参加にご自身の事業所では制限がありますか？

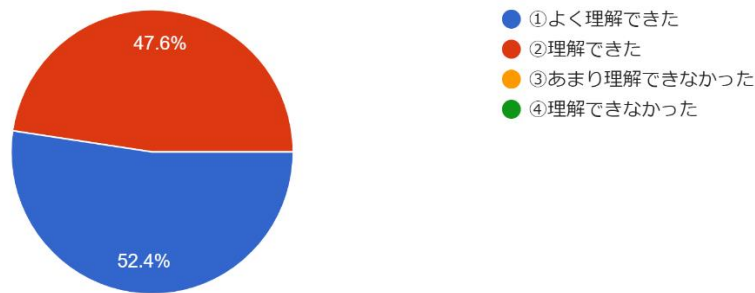
22 件の回答



①特に制限はない	19
②オンライン開催のみ	2
③その他	1

講演「虐待について」の内容について

21 件の回答



①よく理解できた	11
②理解できた	10
③あまり理解できなかった	0
④理解できなかった	0

講演「虐待について」の感想(自由記載)

- ・セルフネグレクトに「生活を営む能力がない」という状況まで含まれることは知らなかったため勉強になりました。
- ・これからもっともっと増えるケースだと思っていますので改めて自分のできる事はまだまだあるのだと振り返る事ができました。
- ・本人の拒否や家族の拒否により適切な支援が受けられず命の危険にさらされるなど私たちの知らないところでも多々あると思います。いろいろな視点や角度で見守りができ、横に広がる支援方法で一人でも多く適切な支援を受けられたらいいと思いました。今回の方は戸の崎さんや他の支援者の方たちとの出会いにより現在を迎えられて良かったと思いましたありがとうございました。日々の支援につながる素敵な研修会でした
- ・テレビで話題になったりしているが実際には見たことがなくためになった
- ・早期発見と周りとの連携、その人への興味が大切だと思います
- ・あってはいけないことだと思うが、日常でどこにでも起こりうる事だと思う。防ぐために、他職種連携が大切と思う。
- ・虐待について理解しているつもりではいるが、虐待とは...を聞き、考える機会を持つことことで、意識向上につながると思うので、講義を聞いてよかった。
- ・虐待の定義と、疑わしい場合でも包括に相談できることを知り、心強く思いました

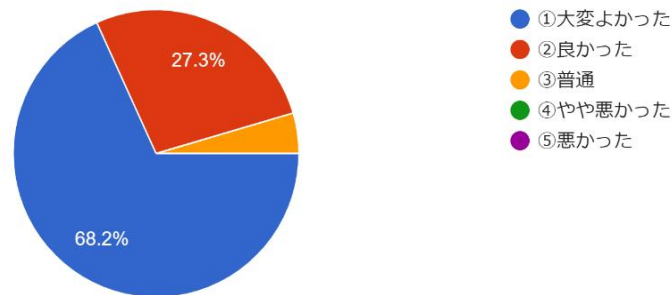
た。事例では、協力体制の築き方、支援の進め方、配慮の温かさを学びました。

- ・病識という観点では、認知症の他にも脳血管疾患や精神科の疾患も該当するかと思いました。そのため、自身の職種の観点から、退院先やそこでの生活を考えるために大変勉強になりました。また、虐待にも様々な分類があることを知り、思い返すと、自身が訪問リハビリに関わった利用者様も複数該当する方がいたように思いました。
- ・身体的虐待みたいにハッキリわからないと、正直動けないかと思った。
- ・具体的な事例で大変勉強になりました。今後もこのような困難事例を扱っていただけると嬉しいです。グループワークでは、訪問介護の方から、まず関係性を作る際には「胃袋をつかむ（好みの料理を聞いて、それを作って食べてもらう）」との話を聞いて、とても驚くともに新たな気づきを得ました。
- ・疑わしいと思った時にどこに知らせるべきか迷いそうだと思いましたが、関係部署に相談するのもいいのかなと思いました。セルフネグレクトというほどではないかもしれませんが、支援を断ろうとする患者の事例は時々あるので参考になりました。
- ・色々な類型があり複雑に絡み合う事例がある事を知れた。周囲の気づきの大切さを知れた。
- ・自分の職場でもセルフネグレクトや高齢者虐待の案件について報告があったり、検討に上がったりしているので、とても興味深かった 実際の事例を用いてディスカッションすることで、自分にできること、医療受持者としてできること、多職種やご家族との連携などについてまなぶことができた グループワークでは身近な職種の方と色々なお話ができて良かった ありがとうございました。
- ・セルフネグレクトという言葉の意味をあまり知らなかったので、とても学びになりました。どうもありがとうございました。
- ・事例提供者がケースについて悩み、行動を行ったプロセスが具体的に示されていてリアルだった。困難事例について、特にセルフネグレクトのケースに対しては、明確にこれという正解は決まったものであるものではないと思っているが、事例提供者の思考過程を知ることで、「やっぱりそうだよな。個別性を大事にして、継続的に悩み続けることが大事だよな」と改めて実感した。事例提供途中、あのタイミングで、あなたならどういうスタンスで関わるか？何処と繋がるかといった投げかけも面白かった。色々な職種と柔軟に考えることが出来て楽しかったし収穫があった。

- ・よくまとまっていて分かり易かったです。お話しも上手でした。

グループディスカッションについて

22 件の回答



①大変よかった	15
②良かった	6
③普通	1
④やや悪かった	0
⑤悪かった	0

今後取り扱ってほしいテーマなどがありましたらご記入ください。

- ・ 老老介護
- ・ 妄想性障がい、パーキンソン病、訪問診療についてなど機会がありましたらお願いします
- ・ 在宅におけるリハビリテーションって何？
- ・ 3市の包括から、3年に1回持ち回りで、支援が困難だった事例の紹介
緩和ケアと在宅においての看取りケアも勉強させて頂きたいです
- ・ 今回の様な事例検討とグループワークが理解が深まり連携向上にもつながる様に
思います

全体を通じて感想などあればご記入ください。

- ・グループのメンバーがあまり慣れていない事例であったので、いきなりグループディスカッションはハードルが高かったかもしれません。全体を通しては、セルフネグレクトの概念と具体的な対応を知ることができ、勉強になりました。
- ・大変興味深い内容で勉強になりました。ありがとうございました。
- ・とても勉強になった。年4回でなくもっとやってほしい
- ・大変勉強になりました。今後ともよろしくお願い致します。
- ・グループワーク大好きです。皆さんと出会えるから。初めはzoomだと照れがあって気まずかったですが、最近では皆さん抵抗なくディスカッションしています。自分の年齢もいくらか誤魔化せているのでは...
- ・グループワークで他職種の方々と話せた事も勉強になりました。少し自分のケースにもご助言いただけてとても心強かったです。虐待の状況や事例の支援について、連携や対応の様子など勉強になりました。どうもありがとうございました。
- ・和気藹々としていて、良いんじゃないかと思いました。
- ・事例＋グループワーク、と言う型はやはりケア連絡会の良さをあらためて感じられる良い機会だと思いました。
- ・ディスカッションは1つのテーマで30分だと少し長いかなと思いました。2つくらいテーマがあって、それぞれ15分ずつとかならいいと思います。
- ・職種が違うので、自分では気が付かない視点に気づく事ができることは良い事だと思います。
- ・研修自体、とても良かったです。また、このような機会があると日頃の業務の中で、連携などがある時には安心して相談できると思う。顔の見える地元の研修会、大事だと実感しました。今後もお願いします。
- ・皆さんの意見も聞き今後参考にさせて頂きたいと思います
- ・企画側で参加しています。グループも盛り上がりました。事例検討に加えて各自の業務における似たケースについても話題に挙がり、支援を拒否する対象者は多いという話になりました。さらに、横に広げていくイメージで自分だけのものにせず、しっかり連携をとれる体制づくりをイメージする、マネジメントをとってくれる事業所に繋ぐ（高齢であれば地域包括、障がいであれば相談支援事業セン

ター)等の意見がでました。とても有意義な時間だったと思います。特に今回の事例の対応が素晴らしいですね。「今年の支援大賞」みたいな企画があれば、ノミネートされてもいいケースだと思いました。

【担当幹事】 竹内 亮平

【今回の目的】

高齢者世帯の増加に伴い、年々、高齢者虐待の件数や相談・通報件数も増えてきている。家族や親族、あるいは介護施設の職員などからも行われる行為であり、地域全体で防止に取り組むべき課題とされている。

今回は、虐待防止対応に関する地域の中心的機関となる地域包括支援センターの社会福祉士による、高齢者虐待に関するミニレクチャーと、実際の虐待事例とその課題解決に向けた多職種連携の取り組みについて講演して頂いた。職種によってはあまり実践の場では見聞きしない虐待事例について、実際を知り多職種間で情報共有することで、地域全体の虐待防止の機運を高めることを目的とした。

【タイムライン】

令和5年3月6日（月）

18：30～18：35 開会・会長挨拶、講師紹介

18：35～18：50 講演「虐待について」

室蘭市地域包括支援センター白鳥ハイツ 社会福祉士 本堂 裕恭 様

18：50～19：05 事例発表 「支援を拒むセルフネグレクトケースについて」

室蘭市地域包括支援センター 母恋 社会福祉士 戸ノ崎 和樹 様

19：05～20：00 グループディスカッション・報告・閉会

【参加者からの声】

- ・セルフネグレクトに「生活を営む能力がない」という状況まで含まれることは知らなかったため勉強になりました。
- ・これからもっともっと増えるケースだと思っていますので改めて自分のできる事はまだまだあるのだと振り返る事ができました。
- ・本人の拒否や家族の拒否により適切な支援が受けられず命の危険にさらされるなど私たちの知らないところでも多々あると思います。いろいろな視点や角度で見守りができ、横に広がる支援方法で一人でも多く適切な支援を受けられたらいいと思いました。今回の方は戸ノ崎さんや他の支援者の方たちとの出会いにより現在を迎えられて良かったと思いました。ありがとうございました。日々の支援につながる素敵な研修会でした。
- ・テレビで話題になったりしているが実際には見たことがなくためになった。
- ・早期発見と周りとの連携、その人への興味が大切だと思います。
- ・あつてはいけないことだと思うが、日常でどこにでも起こりうる事だと思う。防ぐために、他職種連携が大切と思う。
- ・虐待について理解しているつもりではいるが、虐待とは…を聞き、考える機会を持

つことで意識向上につながると思うので、講義を聞いてよかった。

- ・虐待の定義と、疑わしい場合でも包括に相談できることを知り、心強く思いました。事例では、協力体制の築き方、支援の進め方、配慮の温かさを学びました。
- ・病識という観点では、認知症の他にも脳血管疾患や精神科の疾患も該当するかと思いました。そのため、自身の職種の観点から、退院先やそこでの生活を考えるために大変勉強になりました。また、虐待にも様々な分類があることを知り、思い返すと、自身が訪問リハビリで関わった利用者様も複数該当する方がいたように思いました。
- ・身体的虐待みたいにハッキリわからないと、正直動けないかと思った。
- ・具体的な事例で大変勉強になりました。今後もこのような困難事例を扱っていただけると嬉しいです。グループワークでは、訪問介護の方から、まず関係性を作る際には「胃袋をつかむ（好みの料理を聞いて、それを作って食べてもらう）」との話を聞いて、とても驚くともに新たな気づきを得ました。疑わしいと思った時にどこに知らせるべきか迷いそうだと思いましたが、関係部署に相談するのでもいいのかなと思いました。セルフネグレクトというほどではないかもしれませんが、支援を断ろうとする患者の事例は時々あるので参考になりました。
- ・色々な類型があり複雑に絡み合う事例がある事を知れた。周囲の気づきの大切さを知れた。
- ・自分の職場でもセルフネグレクトや高齢者虐待の案件について報告があったり、検討に上がったりしているので、とても興味深かった。実際の事例を用いてディスカッションすることで、自分にできること、医療従事者としてできること、多職種やご家族との連携などについて学ぶことができた。グループワークでは身近な職種の方と色々なお話ができて良かった。ありがとうございました。
- ・セルフネグレクトという言葉の意味をあまり知らなかったもので、とても学びになりました。どうもありがとうございました。事例提供者がケースについて悩み、行動を行ったプロセスが具体的に示されていてリアルだった。困難事例について、特にセルフネグレクトのケースに対しては、明確にこれという正解は決まったものであるものではないと思っているが、事例提供者の思考過程を知ることによって、「やっぱりそうだな。個別性を大事にして、継続的に悩み続けることが大事だな」と改めて実感した。事例提供途中、あのタイミングで、あなたならどういうスタンスで関わるか？何処と繋がるかといった投げかけも面白かった。色々な職種と柔軟に考えることが出来て楽しかったし収穫があった。
- ・よくまとまっていて分かり易かったです。お話しも上手でした。

【報告者からのまとめ】

今回は高齢者虐待、特にセルフネグレクトについてとりあげた。虐待事例は見えない

ところで起こっていることもあり、なかなか事例化しにくいものと思われるが、今回は講義だけではなく、実際の事例対応を踏まえて考察する機会を設けた。基本情報、現在の状況と課題を伝え、グループワークの中でどういった対応ができるかを参加者に考えてもらい、その後、実際の対応方法と解決に至った経過について講義した。

虐待の基本対応がわかっていたとしても、いざ実際に起きている場面に遭遇すると、自身ではどう支援していくか、どんなサービスを活用できるか、どんな関係機関と連携していくか、悩むことが多いだろう。今回は、その予行演習のような企画で、西胆振地区における虐待対応について深める機会となったと考える。特に、弁護士、市役所担当窓口、ケアマネジャー、ホームヘルパーなどの専門職に加え、知人や宅配業者などフォーマル、インフォーマルを問わず、多職種連携のなかで課題解決に向かう方法について理解を深められたことは有意義な時間になったと考える。